

郷土の画人の先駆者といえは、狩野休清実信でありましょう。実信は長崎の現在の西小路地区の高橋甚之丞家の次男として生まれ、本名を甚兵衛といっています。生没年は明らかではありませんが、若くして江戸に出て修行の末、幕府御用絵師狩野支家である御徒町狩野家三代休山是信に見込まれて養子となります。天保より、安政年間にかけて江戸城の絵所に出仕し活躍しました。天保9年（1838年）、江戸城西の丸御殿が焼失、翌年の西の丸の大工事の際に、若年寄詰所の障壁画を揮毫したことで知られています。

実信の弟は初代黒木華郷（峰齋）で、生年は明らかではありませんが、山形で画業に励み、山形市八日町の黒木家に養子に入りました。本名を摠助といい、本業は表具師でありましたが、狩野派に大和絵を加味した彩色絵馬・幟等のすぐれた作品を残しています。絵馬では、当町の八坂神社に「八岐大蛇退治之図」、山形市高原町龍泰寺に「植木踊図」があります。惜しいことに、慶応4年（1868年）に、上山で急逝しています。

また、町内に限らず、幕末の山形地方の画壇に大きな功績を残した画人として西塔太原を挙げる事ができます。寛政9年（1797年）に柳沢の豪農西塔家に生まれ、はじめ名を岩吉、のち9代目西塔長右衛門を襲名しました。若いころは、漆山村（現山形市漆山）で設楽東玉齋について土佐派の画法を学び、玉崗と号しました。

【語句の説明】

支家…分家、末家、傍流、傍系  
出仕…勤めに出ること。特に役所などに勤めること。仕官すること。

若年寄…江戸幕府の職名。老中に次ぐ重職で、旗本および老中支配以外の諸役人を統括した揮毫…筆をふるうこと。書画を描くこと。

号する…名をつける、称すること。本名のほかに別名をつけること。

※引用 中山町史 中巻 第10章第3節 文芸と美術工芸

私たち地域おこし協力隊です！ No.80 

ごきげんよう。ゴールデンウィークはどのようにお過ごしでしたか？私はおかげさまで各地域の行事などに参加しいろいろな文化を楽しみました。また、スポーツチームなどからも練習見学などお声がけいただけるようになりました。

小塩地区にある国道沿いに設置されている町の看板がリニューアルされて『スポーツとフルーツ 伸びゆく町 なかやま』と大きく、爽やかに掲げられているのを見て感激しました！

移居前中山町に遊びに来て中央公民館前にある看板のこのキャッチコピーを見て私は心を動かされ、諦めていた【のむおにぎり】の製造にもう一度チャレンジしてみようと思ったからです。そしてご縁をいただき地域おこし協力隊に着任したのです。お会いする方々にこの感激や感動をお伝えすると「え～そうなの？」と返事が返ってきます。このキャッチコピーが町民の皆さんの日常に浸透していて、当たり前になっているように思いました。だから外から来た私にはこのキャッチコピーの『凄さ』を感じるのですね。きっとこれから中山町は古き良きを大切にしながら新しく『進化』していくのだらうと思います。

地域おこし協力隊の活動も折り返しとなり、時が経つ早さを実感しております。



阿部美恵子

出身地：栃木県鹿沼市  
趣味：高校野球観戦



●協力隊への問い合わせ先● 阿部 ☎662-4271（総合政策課）